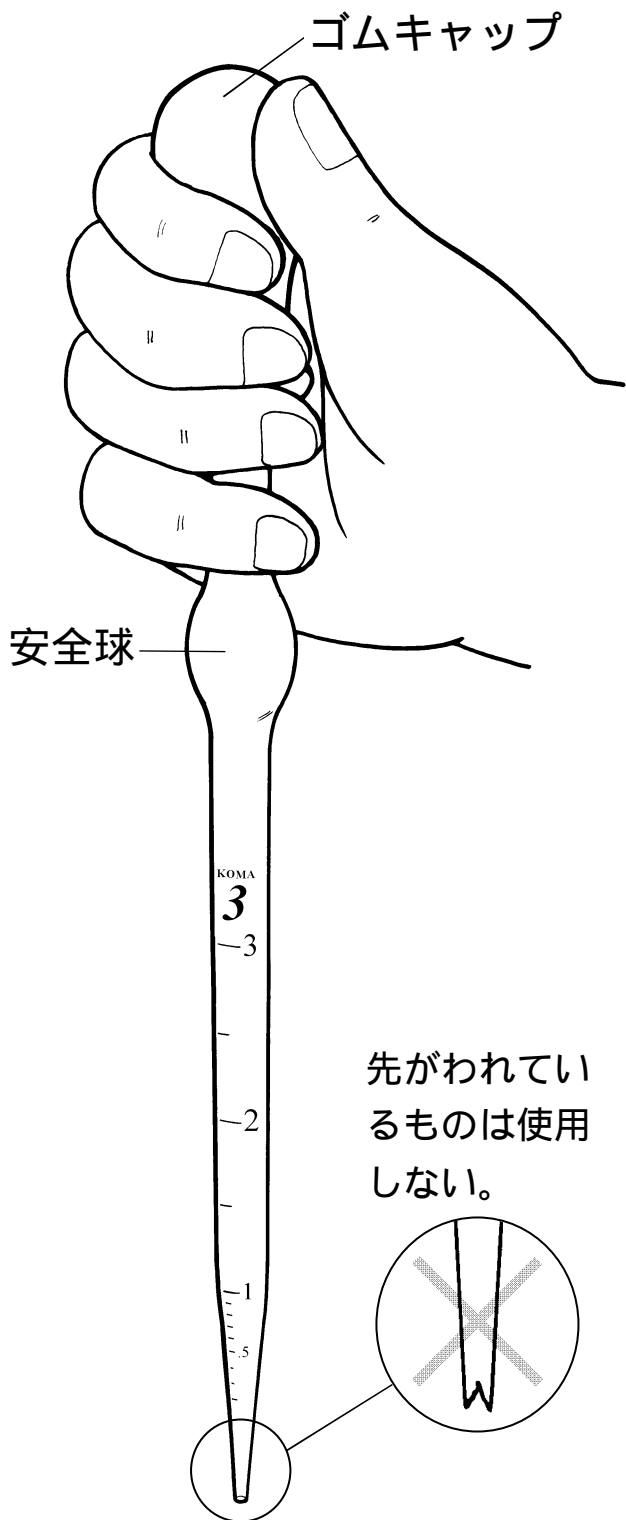
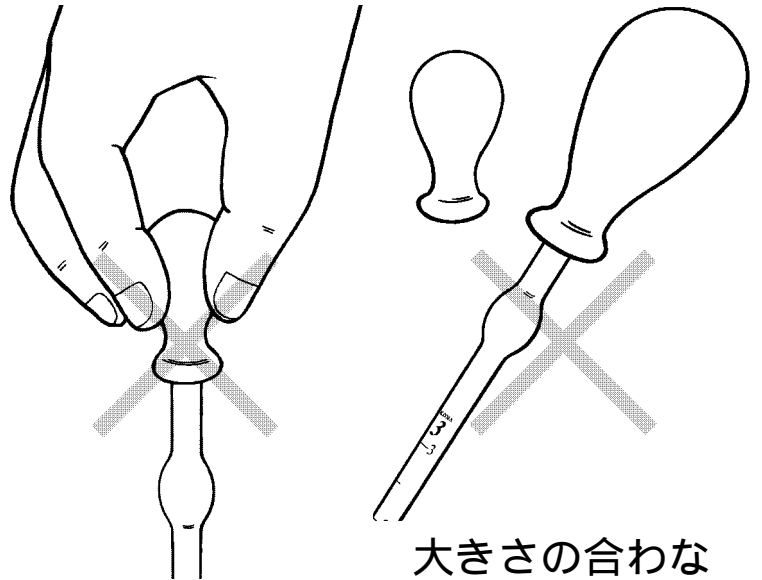


# 理科技能シリーズ こまごめピペットの使い方(1)

## こまごめピペットの持ち方



やってはいけないこと



ゴムキャップだけを持ってはいけません。

大きさの合わないゴムキャップをつけてはいけません。

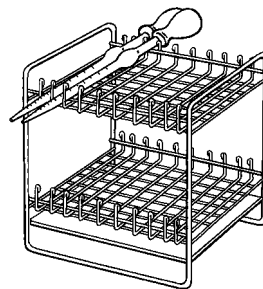
先がわれているものは使用しない。

親指と人差し指でゴムキャップをはさみ、残りの指でガラスの部分を持つ。

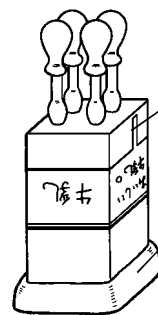
## かたづけ方



よくあらってからかたづける。



売っている台



自作の台

牛にゆうパック  
ねん土のおもり

ピペット台で保管する。  
ほかん

## 解説

こまごめピペットを扱う際の事故は、薬品を操作しているときに起こることが多い。そこで、事故を防ぐためのこまごめピペットの使い方を次に記す。

### こまごめピペットの持ち方

- ・親指と人差し指でゴムキャップをはさみ、残りの指でガラスの部分を持つ。

〔理由〕

3本の指でしっかりとピペットを支え、親指と人差し指で力を加減しながらゴムキャップをおすことで、正確な操作が行えるためである。

### やってはいけないこと

- ・ゴムキャップだけを持ってはいけない。

〔理由〕

不意に中の液体が飛び出すおそれがあるためである。

- ・大きさを合わないゴムキャップをつけてはいけない。

〔理由〕

ゴムキャップが大きすぎると、吸い上げる液体の量が多くなり、液体がゴムキャップに流れ込んで、ゴムキャップが傷むおそれがあるためである。

- ・先が割れているものは使用しない。

〔理由〕

触れてけがをするおそれがあるし、量を正しくはかりとれないためである。ピペットの先は割れやすいので、ガラス容器などにぶつけないよう気をつける。

### かたづけ方

- ・使用したこまごめピペットは、ゴムキャップをとって水でよくすすぐ。落ちにくい汚れはピペット用のブラシでこすって落とす。

〔理由〕

洗っておかないと、次に使うときに他の薬品と混じってしまうためである。

- ・こまごめピペットの保管にはピペット台を使う。市販のもののほか、牛乳パックを加工するなどして工夫した自作の台を使うのもよい。

〔理由〕

ビーカーなどに立てて入れると先を底にぶつけて割るおそれがあるし、トレイなどに横にして入れるとピペットどうしがぶつかって割れるおそれがあるためである。

理科技能シリーズ **こまごめピペットの使い方(2)**

えきたい  
**液体のとり方**

ようき  
容器を近くに置いて、  
いどう  
手ぎわよく移動する。

親指でゴムキャップをおして空気を出し、そのまま先を液体につける。

親指を静かにゆるめて液体をすい上げ、そのまま先を液体からとり出す。

液体を注ぐときは、先を容器の内側につけて、ゴムキャップを静かにおす。

**液体のはかりとり方**

横から見る。  
例：1 mL

液体を少し多めにとってから、ゴムキャップをおして液を出し、量を調節する。

**液体をとるときの注意**

**やってはいけないこと**

液体を入れたまま、横にしてはいけない。

1つのピペットでことなる薬品をとってはいけない。

## 解説

### 液体のとり方

親指でゴムキャップをおして空気を出し，そのまま先を液体につける。

親指を静かにゆるめて液体を吸い上げ，そのまま先を液体からとり出す。

こまごめピペットで薬品を持ち歩くことは危険なため，液体を注ぐ容器をあらかじめ近くに置いておき，手際よく移動する。液体を注ぐときには，滴下する勢いが強すぎて薬品が飛びはねたり，急激な反応が起こって薬品が飛び散ったりする事故を防ぐため，先を容器の内側につけて，ゴムキャップを静かにおす。

### 液体のはかりとり方

- こまごめピペットには目盛りがついているので，液体をはかりとることができる。液体を少し多めにとり，横から目盛りを見ながら少しずつ液体を出して量を調節する。

〔理由〕

液体を吸い上げる操作中に液体を正確にはかりとるのは難しいためである。

### 液体をとるときの注意

#### やってはいけないこと

- 液体をとったこまごめピペットを横にしてはいけない。

〔理由〕

ピペットを横にすると，液体がゴムキャップに流れ込んで，ゴムキャップが傷むおそれがあるためである。

- 1つのピペットで異なる薬品をとってはいけない。薬品ごとに別のこまごめピペットを使用する。

〔理由〕

ピペットを使い回していると，薬品が混じって使えなくなるし，ピペットの中で薬品が反応して，薬品が噴き出したり，生成物が中で固まったりするおそれもあるためである。